

2019年8月16日

放射線治療科に、過去に通院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]

肺癌術前化学放射線療法後の呼吸器有害事象と放射線治療の因子に関する後方視的観察研究

[研究機関の長]

香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

高橋 重雄 (香川大学医学部附属病院 放射線治療科)

[研究の目的]

当院で肺癌に対して手術の前に化学療法と放射線治療を併用して術前化学放射線療法を受けられた患者さんにおいて、呼吸器関連の副作用と放射線治療の内容に関連があるかどうかを評価します。今までに関連があると報告されている内容が、本研究においても同様に関連があるのかも調べます。得られた結果を基に、手術の前の放射線治療のよい良い方法を検討し、日常診療の質の向上に役立てるために、この研究を行います。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2013年12月1日～2019年7月31日の間に当院で肺癌に対し術前化学放射線療法を受けられた方

○利用する診療情報

【基本情報】

年齢、性別、現病歴、既往歴、CT等の画像データ、腫瘍マーカー等の検査データ

【治療期間中の情報】

治療歴、放射線治療の内容、併用療法の内容、CT等の画像データ、腫瘍マーカー等の検査データ、副作用

【放射線治療の内容】

35Gy や 40Gy が照射される肺の体積 (V35 や V40)、術後に残存した肺の V20 や平均線量、腫瘍の反対側にある肺の V10 や V20 等

【経過観察期間中の情報】

後治療の内容、CT等の画像データ、腫瘍マーカー等の検査データ、副作用、転帰

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 放射線治療科

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会発表等で公表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院治療科

電話 087-898-5111 (病院代表)

担当医師 高橋 重雄